# 2021 年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号 01010101

### 1.計画名称

# 茅野市地域福祉計画

### 2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗 評価	おお	むね順調	=쓰 미미	「お互いに支え合いその人らしく暮らせるまちづくり」という理念の基、保健・医療・福祉の連携、相談支援のネットワークの構築、地域での支え合いの仕組みづくり等を、各種の業務において実践し継続している。今後は、重層的支援体制整備事業等、国の施策と茅野市の取り組みの整合を図りながら、関係各課との連携を更に意識して業務を行う必要がある
今後の重 施策者		1	説明	新型コロナウイルスの感染対策を講じつつ、福祉21茅野との協働により課題解決に向けた議論を重ね、外出支援に関するワーキングについては、新しい公共交通(のらざあ)が誰でも使いやすい仕組みになるよう、ワーキングの意見を新公共交通検討会に届ける等の取り組みを進める。また、新たに立ち上がるワーキングによる課題可決に向けた取り組みも進める。

# 3.各施策等における評価内容と改革改善

区	施策名称	進捗評価	総合記	改革改善の具体的内容	
分	旭東石柳	连抄計画	主な取組内容や成果	課題	以単以音の具体的内容
1	ー人ひとりが 主役となり、 「共に生きる」 ことができるま ち	おおむね順調	・福祉21茅野の各ワーキンググ ループで、課題の検討等を行う活動が開始された。	・各ワーキングループが検討した課題について、市に対して施策提案ができるよう進める。 ・第3次地域福祉行動計画の周知方法や進行管理について検討が必要。	・各ワーキングループが検討した課題 については、市の施策に対して意見・ 提案ができるよう進めるとともに、新た な課題を検討するワーキンググループ を立ち上げる。
2	生涯にわたっ て健やかに、 安心して暮ら せるまち	おおむね順調	4つの保健福祉SCの事例を用いて、個別の事例検討を実施し、多職種の連携の大切さと保健福祉SCの機能について再確認できた。	・地域共生社会の実現に向けて、具体的かつ横断的な課題 については、福祉21茅野のワーキンググループで取り上げて、検討していく場を作る	保健福祉サービスセンターの業務分析や機能評価に基づき、サービスセンター機能の再確認(本来業務の明確化)を行っていく。
3	ふれあい、学 びあい、支え あいのあふれ るまち	おおむね順調	・社会福祉協議会が主催する福祉教育に関わる活動について、新型コロナウイルス感染症対策を行い54件実施され学びあいの場が提供できた。・社協への適正な補助金支出を行うため、実績に応じた補助金精算実施した。	・地域福祉活動を進める上で、 社会福祉協議会とのネット ワーク形成を図る必要があり、 特に現状把握が不十分のため 課題解決へ取り組めない状況 である。	・市と社協の職員交流を活かし、社協の事業評価を更に進めていく。 ・社会福祉協議会のCSWと連携し、地域福祉活動における現状把握や課題 抽出及び解決方法を検討していく
4	すべての人に とって豊かで 快適に生活す ることができる まち	おおむね順調	・長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため、住宅確保給付金や生活福祉資金貸付を活用した支援が増え、関係機関と連携した支援が進んでいる。また、就労に係る自立促進率が上昇しまいさぼの相談支援の成果が表れている。	・新型コロナウイルス感染症の 長期化の影響等により、生活 困窮者の相談件数のさらなる 増加が予想されるため、支援 体制の拡充が必要。	「断らない相談」及び「伴走型支援」の 定着に向けて、拡充した総合相談体制 を維持していくため、茅野市社会福祉 協議会からの専門職員の派遣を継続 する。
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

. 因廷中以四个子(	<b>                                      </b>						
	主な意見	市の考えや対応など					
関連市民団体等名称		が型ーローナイルラの軽熱・砂刀を吹きるで 短知の4					
福祉21茅野		新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、福祉21  茅野幹事会を開催し、施策の実績報告や、評価及び					
開催回数		今後の方向性の確認を行う予定。					
参加延べ人数		/ BCODY IN ITO NEW CITY I YOU					
関連市民団体等名称							
開催回数							
参加延べ人数							
関連市民団体等名称							
開催回数							
参加延べ人数							

5.添付資料 別紙「施策評価シート」